

本日のプログラム

例会 第2733回

- 1.開会点鐘
- 2.ロータリーソング
- 3.ビジター紹介
- 5.会食
- 6.会長挨拶
- 7.幹事報告
- 8.出席報告

- 10.卓話：深澤昌光君
- 11.閉会点鐘

例会の予定

- ・9月14日(金)
卓話：常盤章夫君
- ・9月21日(金)
卓話：石川 博君
- ・9月28日(金)
卓話：望月博文君
- ・10月5日(金)
社会奉仕 下草刈り



会長挨拶

先日の北海道地震の震災にご親族、ご親戚など被害に見舞われた方、心より見舞い申し上げます。

今年は、予想もしていなかった、西日本の豪雨から夏の40度越えの「殺人猛暑」とも呼ばれており、台風も被害などの爪痕を残した夏だったと思います。もし「南海トラフ地震」が起きた場合、被害1,410兆円、回復20年とされているそうです。

「9月1日は防災の日」ということで、湯河原町も9月2日に行政、関係団体、自主防災組織と連携で防災訓練が行われました。

やはりこうして一年に大きな天災があると、防災訓練の必要性が年に1回でなく、定期的な訓練も必要と実感しております。

また、今回の台風の影響で「真鶴道路」が通行止めでございましたが、Twitterで、リアルタイムで配信して状況をアップされておりました。

スマートフォンの活用性がまさに時代に適して来ていると思っております。

ある企業の調査をした所「災害にまず何をもって逃げるか」によると、

1位「携帯」 2位「お財布」 3位「ペット」とあったようです。

阪神淡路大震災の時は朝方でしたので、ある主婦は

ポケットにいつも携帯を入れておりました。

インフラが停まったときに、携帯のライトで家族の安否確認が出来たそうです。時代の流れを感じます。



幹事報告

【米山梅吉記念館より】

1. 青少年交換学生募集の件

締切は10月12日必着となります。志願者からの応募がありましたら対応のほどお願いします。

2. 地区資金会計報告及び監査報告を送付いたします。

3. ミャンマーの国際奉仕に関する卓話について

【連絡事項】

1. 9月よりお食事の人数変更が例会当日の9時までとなりましたのでご承知おき下さい。

Rotary



公益財団法人
ロータリー米山記念奨学会
ロータリー日本国内全地区合同プロジェクト

出席報告	ゲスト 0名	ビジター 0名	会員 24名
	欠席 4名 (免除者3名)	前回の修正出席率 91.30%	
	出席率 95.24%	前々回の修正出席率 90.91%	

事前メイクアップ 1名

第2780地区 第9グループ

湯河原
ロータリークラブ

会長 石田 浩二
幹事 小倉 高代

事務所 神奈川県足柄下郡湯河原町宮上

湯河原町宮上 566

湯河原町温泉観光協会内

例会場 静岡県熱海市泉 107

ニューウェルシティ湯河原

例会日 毎週金曜日 12:30~13:30



平成30年9月7日(金)

天候 曇り

合唱 君が代

それでこそ
ロータリー

四つのテスト

Rotary



国際ロータリー2018-19

RI 会長 バリー・ラシン

第2780地区

ガバナー 脇 洋一郎

四つのテスト

1. 真実かどうか

2. みんなに公平か

3. 好意と友情を深めるか

4. みんなのためになるかどうか



インスピレーションになろう

会員誕生日 深澤昌光（9／1）
 入会記念日 杉山茂久君
 （30年・昭和63年9月2日）
 入会記念日 石田浩二君
 （7年・平成23年9月2日）

卓話：深澤 昌光君



最近、自身は、東日本大震災・熊本自身・昨日は午前3時7分頃、北海道南西部の胆振地方を震源とする地震があり、厚真町で震度7を観測した。

北海道内のほぼ全域にあたる295万戸で起きた停電で電力全面復旧に一週間をかけるとしている。本年7月には西日本豪雨により大きな被害が発生しました。全国で大雨の警戒が欠かせません。

1. 西日本豪雨について

西日本豪雨は7月6日太平洋高気圧とオホーツク海高気圧に挟まれた梅雨前線が停滞し、大量の水蒸気が流入して起きた。近年は日本近海の海面水温が上昇し、大雨の発生頻度が高まっている。国内では、1時間に80ミリ以上の雨が降った。回数は年平均18回と1980年代と比べて1.6倍に増えている。（ちなみに千歳川の能力は、50ミリ対応となっています。）また、雨量の記録更新地点数（48時間）2日間の雨量の記録した気象庁の観測地点は124地点で、被害が大きかった広島・岡山・愛媛では、7月に降る1か月の雨量を上回る結果となった。土砂災害は、1518件と年間平均の1.4倍。内訳はがけ崩れが1200件、土石流が466件、地滑りが50件で、今回の広島県南部の土石流出量は400万立方メートル（大型ダンプ80万台分）今回の豪雨で50メートル以上の斜面崩壊は、広島県南部から岡山県南部にかけて8497か所の斜面崩壊が確認された。また広島県で起きた土石流の速度は秒速9メートル（時速32.4キロメートル）で、1分ほどで住宅地に到達しており、土石流の発生後に避難するのは難しかったと見られる。岡山県倉敷市真備町の小田川が氾濫した仕組みは、本川の高梁川の水位が上昇し、支流の小田川が高梁川に流れにくくなると（バックウォーター現象）が起こり、小田川の水位が上昇し、堤防が決壊し、町全体の4分の1にあたる12000ヘクタールが浸水し、深さは最大で5.38メートルに達した。

2. 大雨特別警報について

気象庁が西日本豪雨で発表した大雨特別警報は、最終的に過去最大の11府県に及んだ。特別警報は、大雨で数十年に一度の重要な災害が起きる恐れがある場合に、最大級の警戒を呼び掛けるものだ。気象庁は発表に「命を守る行動をとる」ように呼びかけている。例えば、浸水被害で安全な場所への非難が間に合わない場合、少しでも生存確率を上げるため、自宅などの二階以上の高い場所に逃げる「垂直避難」がある。だが、倉敷市真備町で浸水の深さが5メートルを超え、二階でも溺れる恐れがあり、垂直避難の限界を突き付けた。特別警戒の発表時点ですでに重大な災害が起きている恐れがあり、早めに非難することが大事であることが分かった。

3. 湯河原の防災マップについて

（1）洪水ハザードマップ（資料3の①をご覧ください。）藤木川（Aエリア）ですが、末広橋（エクシブ湯河原離宮）上流で浸水します。次に千歳川（Dエリア）をご覧ください。一つ目は、観光会館上流からニューウェルシティ湯河原付近までが浸水することです。二つ目は、泉大橋から新幹線、三つ目は、高橋上下流（日本ジャンボ前）の上下流四つ目は、ゆがわら万葉荘下流となっています。

（2）津波ハザードマップ（資料3の2をご覧ください）

①大津波警報（10メートル超）相模湾トラフ沿いの海溝型地震

（ア）海から千禧公園～広崎公園～新崎川の新崎橋を結んだ線 （イ）新崎かわから吉祥院の海岸沿い
（ウ）福浦漁港付近

②大津波警報（10メートル以下）対象関東型地震

（ア）千歳川河口から川端公園 （イ）吉浜海岸ヘルシープラザ付近 （ウ）新崎川河口から真砂子橋の左右岸
（エ）福浦漁港用地

（3）土砂災害（土石流）ハザードマップ（資料3-3をご覧ください）

①奥湯河原地区

（ア）材料道路入り口から水無沢 （イ）アケジ沢（広河原浄水場から藤木川合流点）

②奥湯河原・温泉場地区

（ア）水無沢～不動沢（不動滝）

③温泉場地区

（ア）不動沢～湯河原病院入口付近 （イ）千歳川（竹の沢～観光会館）－土砂災害特別警戒区域（赤斜線）

④宮上・宮下地区

（ア）広部橋から泉大橋付近 （イ）花咲団地からオレンジライン入口

⑤宮上・宮下・城堀地区

（ア）泉大橋～花咲団地～新幹線を結んだ区域 （イ）城堀は会区域 （ウ）千歳川高橋～図書館～おにわ保育園～門川会館を結んだ区域

(ア) 湯河原駅山川区域 (イ) 花咲団地付近